

鳥取県立図書館からの報告

(対象期間：平成 29 年 9 月～平成 30 年 11 月)

(報告者) 鳥取県立図書館
郷土資料課 三田 祐子

1. 資料展示

(1) 特別資料展示 (特別資料展示室における展示)

	期間	タイトル	入場者
29 年 度	9 月 16 日～ 10 月 11 日	企画展「消費生活センター エシカル展」 消費生活センターによる「エシカル消費」啓発展示。 ※鳥取県との連携企画	175 名
	10 月 9 日～ 11 月 29 日	「文字・活字文化の日」記念事業 特別展「とっどりの文芸史 郷土文芸雑誌を味わう」 鳥取県内で発行された郷土文芸誌を通して、郷土の人々が参加した文芸活動を紹介。期間中には、郷土文化講演会を開催。	344 名
	12 月 9 日～ 1 月 8 日	企画展「イラストレーター毛利彰 本の仕事原画展」 鳥取市出身のイラストレーター毛利彰が手掛けた装画とその原画展。 「歴史群像シリーズ」(学研)の表紙カバー、手塚治虫『火の鳥』(角川書店)ハードカバー版等を手掛ける。期間中には関連イベント(記念トークショー、ワークショップ)を開催。※イラストレーター毛利彰の会との連携企画	638 名
30 年 度	7 月 28 日～ 8 月 30 日	魅力発見! 山陰海岸ジオパーク ー日本海の形成とめぐみー 「山陰海岸ジオパーク」が「日本ジオパーク」に認定され今年で 10 年を迎える。絵図などから昔の鳥取を振り返るとともに、現在のジオパークの取り組みや「日本ジオパーク」の更新の課題などを紹介。夏休み期間中であり、子どもたちにも興味を持ってもらえるようクイズコーナーや鳴砂体験コーナーを設けた。期間中には、郷土文化講演会を開催。	477 名
	9 月 8 日～ 10 月 23 日	明治 150 年特別企画展 「明治時代の鳥取県ー維新から大正改元までの記録ー」 明治時代の鳥取県政の歩み(主な出来事、人物等)を、公文書や写真等を元に紹介。※鳥取県立公文書館との連携企画。共催:鳥取県立図書館	590 名
	11 月 9 日～ 12 月 6 日	「文字・活字文化の日」記念事業 活字から見る旧制中等学校スポーツ史 鳥取県内の旧制中等学校のスポーツ史を、新聞記事や校友会雑誌などで振り返る。	—

(2) ミニ展示・企画展示 (郷土資料室内のスペースを利用した展示)

	期間	タイトル
29 年 度	11 月 15 日～ 29 日	鳥取県出版文化賞 2017 「鳥取県出版文化賞」とは、郷土の優れた著作や出版活動をたたえ、文字・活字文化の発展を目指すため、1976 年に創設された賞(41 回目)。平成 29 年度および過去 2 年分の受賞作品・候補作品を展示。

30 年 度	5月1日～30日	鳥取市出身の憲法学者 佐々木惣一生誕 140年 明治11年鳥取市に生まれた、日本を代表する憲法学者佐々木惣一の功績を紹介。
	6月1日～29日	サクラクレパス生みの親 佐武林蔵 サクラクレパスの生みの親である佐武林蔵（鳥取県日南町出身）を紹介。
	7月9日～8月30日	岡野貞一生誕 140年 岡野貞一と童謡・唱歌のふるさと鳥取 生誕140年を迎える鳥取市出身の作曲家・岡野貞一のほか、鳥取県は他にも多くの作曲家・作詞家を輩出している。岡野貞一の功績を紹介する本や童謡・唱歌に関連する本を展示。
	8月10日～30日	8月11日は山の日 とつとりの山を楽しもう 「山の日」のある8月に、鳥取の山をテーマとした展示を開催。今年は大山開山1300年を迎え、県内各地で多くのイベントが企画されている。
	9月1日～29日	鳥取地震から75年 「鳥取地震」から75年目の節目の年。「鳥取地震」の関連資料、当時の写真等に加え、平成12年の鳥取県西部地震、平成28年の鳥取県中部地震に関する資料などの過去の地震災害記録、ハザードマップ等を展示。※「とっとり防災フェスタ2018」（主催：鳥取県）との連携企画。
	9月12日～10月10日	とっとり県民の日記念企画「障がい福祉の父 糸賀一雄」 没後50年を迎える、鳥取県出身の教育者糸賀一雄の実践や功績を紹介。知的障がい児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」（昭和21年）の創設をはじめ、日本の障がい者福祉・教育に偉大な足跡を残した人物として知られている。※鳥取県社会福祉協議会との連携企画。期間中に講演会を開催。
	9月21日～10月30日	写真で魅せる 鳥取県出身の写真家が撮る鳥取 鳥取県出身の写真家が撮った、ふるさと「鳥取」の風景を紹介する展示。

2. 講演会・行事

(1) 郷土文化講演会

演題：「ユネスコ世界ジオパークが目指すもの～山陰海岸ジオパークの現状と課題～」

日時：平成30年8月4日（土） 午後2時から4時

講師：柚洞一央氏（公立鳥取環境大学環境学部准教授、世界ジオパーク現地審査員）

(2) 「文字・活字文化の日」記念講演会（ブックインとっとり記念講演会）

演題：功労賞受賞者による講演「80年前、日本のムラはブータンだった」

奨励賞受賞者による講演「出島 一時代（とき）と世界を旅する」

日時：平成30年11月10日（土）午後1時30分～4時30分

(3) 鳥取県に伝わる昔話を聞く会

日時：毎月第4土曜日 午後2時から30分程度

語り手：中嶋須美子氏

3. 研修・講座

(1) 新任図書館員を対象とした実務研修会（平成 30 年 4 月 27 日）

県内図書館の新任職員等を対象にした研修会。「本の正しい扱い方と郷土資料の活用法」を講義。

(2) 行政職員向け研修「図書館に学ぶ！1 ランク上の情報収集講座」（平成 30 年 7 月 19 日・20 日）

鳥取県人材開発センターとの共催企画。県及び県内自治体職員の研修講座として「図書館を活用した情報収集講座」を開催。図書やインターネットを活用した情報収集、郷土資料の活用法についての講義を行った。平成 18 年度より継続開催。

(3) 鳥取県ジュニア司書養成講座（平成 30 年 8 月 1 日～3 日）

小・中学生を対象とした「ジュニア司書」養成講座。郷土資料についての講義や郷土資料室での実習を行った。

4. 「郷土出身文学者シリーズ 特別編 とっとり文学の情景（増補版）」の発行

既刊の『とっとり文学の情景』に、新たに中部編を加えた増補版。多くの文学者が訪れた三朝温泉などの鳥取県中部を代表する名所や、河本緑石や白井喬二など鳥取県出身文学者ゆかりの場所を加え、引用文や魅力ある写真とともに紹介。

5. 外部との連携

(1) 鳥取大学の授業活用

内容：鳥取大学全学共通科目「デザインプロジェクト」は地域課題をテーマとしたプロジェクト型の授業。「鳥取駅前の 5 年後・10 年後を考える」をテーマに、学生が鳥取駅前地域の現地調査をもとに問題を分析し、解決策の提案をまとめるというもの。当館では、図書館のレファレンスについて（講義）、図書館見学、学生による実際の調査が行われた。

日時：平成 30 年 10 月 20 日（土）午後 1 時 30 分～4 時 15 分

今後の予定：学生の提案をまとめたパネルや使用した本の展示、プレゼン（発表会）の開催

(2) ホスピテイル・プロジェクトとの連携

内容：県民によって撮影された 8 ミリフィルムの映像を収集・保存・活用する「すみおれアーカイヴス」。昭和 50 年代から平成初期の映像を厳選し、県立図書館閲覧室内にモニターを設置し上映。あわせて、関連するテーマの本を展示。

期間：平成 30 年 9 月、11 月

(3) 高等学校図書館との連携「図書館で知る県民の日キャンペーン鳥取県高校生クイズ」

内容：県内高等学校及び特別支援学校図書館を中心に鳥取県に関するクイズを出題したイベントを開催。鳥取県立図書館と高等学校図書館が連携して問題作成を行う。応募者は、図書館資料等を使ってクイズに解答し、各自の学校図書館に応募する。

期間：とっとり県民の日と読書週間を含む 9 月から 11 月の間

5. 統計および資料保存の取り組み等

(1) 統計

利用状況

	貸出冊数（一日あたり）	レファレンス
平成 29 年度	7,174 冊 (22.0 冊)	4,305 件
平成 28 年度	7,596 冊 (23.4 冊)	4,088 件

蔵書冊数

平成 29 年度	平成 28 年度
141,586 冊	138,424 冊

※平成 29 年度：3,162 冊増加

(購入：545 冊 寄贈：2,487 冊 生産・その他：174 冊 除籍：44 冊)

(3) 郷土関係情報の収集およびデータ入力

① 図書、逐次刊行物等の収集

② 郷土関係情報の入力・発信

- ・「鳥取県郷土人物文献データベース」の新規文献情報の入力
- ・図書、雑誌、研究報告書等の目次・論文名の入力
- ・ホームページの更新（展示・行事の広報、コンテンツの更新）

③ 郷土関係情報の収集

- ・新聞記事のスクラップ（地元紙・全国紙より鳥取県に関する記事をスクラップ）

(4) 資料のデジタル化計画

平成 30 年度より、所蔵資料のデジタル化を開始。平成 30 年度から 34 年度の 5 カ年計画で、希少性の高い貴重資料や劣化の進行が著しい資料などのデジタル化を行う。

現在は、平成 15 年度から 17 年度にデジタル化した所蔵絵図（38 種類、89 点）を公開。

今年度は、原資料とデジタル化したデータを併せて公開し、県民にデジタル化資料の利便性を紹介する展示を開催する。（平成 31 年 1～2 月予定）